



宗像市議会議員
笠井 かなえ



ふくおか市民政治ネットワークは、32年前から女性を議会に送り出し、生活者の視点で暮らしの課題を解決する活動を続けている地域政党です。宗像市では1990年以来6人の議員を出しています。

〒811-3431 宗像市田熊 2-1-1
Tel・Fax 0940-37-0700
Email munakata@fnet.gr.jp
HP <http://www.fnet.gr.jp/munakata>
■事務局長：田中るみ子 ■代理人：笠井かなえ



選挙ハGO

だれもが安心して暮らせる宗像市に

～身近な市の政治をしっかりチェックしよう！～

新しい年にあなたは何を一番期待しますか？
2年にわたり続くコロナ禍の収束を願う人が、大多数だと思えます。昨年の秋頃から感染者数は大きく減少していますが、海外で感染が拡大している新型オミクロン株の広がりにより不安を感じます。

第3回目のワクチン接種の接種時期について国の方針が、2回目接種の8カ月後か6カ月後か説明が変わり、市民も市町村も困惑しています。また、コロナ禍による子育て支援・生活困窮者の支援と経済の活性化の支援策としての10万円給付をめぐっても、国の方針が二転三転し、市町村の責任で決定できることになりました。その間、自治体は対応に振り回されています。このように私たちの生活に大きな影響を与える制度や税金の使い方が政府や自治体のリーダーの考え方によって違うことが、コロナ関連の対応でわかりました。

4月24日には、宗像市のカシ取りをする市長選挙があります。6月には参議院選挙も予定されています。昨年の衆議院選挙では投票に行きましたか？「自分が投票しても何も変わらない。」と思っているあなた！
投票は国民の権利です。コロナ禍で生活が苦しくなっている市民が増えています。市長には、多様な市民の声を聴き、生活上の大変さを抱える人たちに寄り添った施策を期待します。少しでも希望を持てる未来のために、あなたの1票をぜひ、生かしましょう！

福岡県に「気候非常事態宣言」を求める署名活動に取り組めます！
賛同される方は、市民ネット事務所にご連絡ください。

学習会「海洋プラスチックごみを考えよう！」

講師：磯辺篤彦さん（九州大学応用力学研究所 教授）

ふくおか市民政治ネットワークではプラスチックによる環境汚染を減らす活動に取り組んでいます。まずは現状を知ろうと学習会を開催しました。

海岸に漂着するごみは、海岸や海で捨てられるもの以上に、まちの生活ごみが川を経て海に至ります。そして海流と風に流され世界を回ります。特にプラスチックごみは海洋生物に絡まり誤食につながります。更に紫外線や温度変化により破砕され、5mm以下のマイクロプラスチックとなります。海水中の汚染物質がマイクロプラスチックの表面に吸着し海洋生物の生態系に影響を与えます。汚染物質を蓄積した魚を人間が食べて何か影響がでるかもしれません。巡り巡って私たちに帰ってくると言われています。

プラスチックを無くすことは難しいかもしれませんが。私たちにできることはプラスチックの減量（リデュース）です。一人ひとりができることに取り組んでいくことが大切です。



暮らしのヒント



- Q. 運転免許証を返納しました。市から補助がありますか？
A. 70歳以上の市民で、有効期間内の運転免許証を警察署に自主返納し、市役所で6ヶ月以内に申請すると・・・

いずれか1つの支援を受けられます。

- ふれあいバス、コミュニティバスの回数券 1万円分
- 市内4社のタクシー会社で使える回数券 1万円分
- 西鉄バスなどで使えるICカード「nimoca」1万円分

詳しくは 宗像市役所 危機管理課にお問い合わせ下さい。

TEL 0940-36-5050

議会報告会 と まちづくりトーク

今、宗像市で気になることは何ですか？
こんな宗像市だったらいいな、あんな制度があったらいいなど、わいわい話しましょう！
お気軽にご参加ください。

2月14日（月）10:30～12:00

市民ネット事務所

*申し込みは不要です。お待ちしております。

サポーター会員募集！（年会費 1500円）

サポーター会員の方には、議会のお知らせや学習会等のご案内をお届けします。
会費・カンパ・議員報酬からの寄付で活動しています。
郵便振替口座 記号01730-2 番号59371
ふくおか市民政治ネットワーク・宗像